

よこはま動物園ズーラシア ヒトコブラクダの「ピノ」が死亡しました



元気な頃の「ピノ」

よこはま動物園で飼育していたヒトコブラクダの「ピノ」が死亡しましたので、お知らせします。

○ヒトコブラクダ「ピノ」

- (1) 性別 メス
- (2) 出生日 平成22年1月26日(11歳10か月)
- (3) 死亡日時 令和3年11月25日(木)午後5時半頃死亡確認
- (4) 死因 肺水腫
- (5) 経過 令和3年11月中旬から食欲不振となり、治療を行っていましたが、令和3年11月25日、午後5時半頃死亡を確認しました。

●ピノのプロフィール

平成25年4月に長崎県の九十九島動植物園 森きらら より来園しました。

2年半のトレーニングののち、平成27年9月からラクダライドで活躍し、立派なこぶと柔らかい唇で、人気となりました。令和2年2月下旬から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ラクダライドは中止としていますが、再開に向けて日々トレーニングに励んでいました。

献花台について

令和3年12月2日(木)～12月13日(月)の期間、ラクダライド展示場付近に献花台を設置します。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■ヒトコブラクダについて

和名	ヒトコブラクダ
英名	Dromedary
学名	<i>Camelus dromedarius</i>
分類	鯨偶蹄目 ラクダ科
分布	野生種は絶滅
生態	砂漠地帯に生息するため、砂漠に適応した体のつくりになっています。砂にめり込まないように平らで大きな足、砂ぼこりを防ぐための太い眉毛と長いまつ毛、砂嵐の時に自由に閉じる鼻の穴を持っています。群れを作って生活し、主に草を食べて生活しています。背中にはコブがひとつあり、脂肪を蓄えています。現在本種の野生種は絶滅しましたが、アラビア半島、オーストラリア等では家畜種が逃げて半野生化しています。
当園飼育頭数	1頭（オス0頭、メス1頭） ※今回死亡した個体を含まず
国内飼育園館	7園館 15頭（オス8頭、メス7頭） ※令和3年11月26日現在

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）
- ◆休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）12/29～1/1 ※臨時開園あり
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から
「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆URL：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000

※よこはま動物園ズーラシアでは、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

・発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。

その他詳細はホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。